



八月 (大) 葉月 虚宿

(八月七日立秋の節より)
月命壬申八白土星の月
暗剣殺東北方

旧 六月 小
七月 大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
14日	水	かえいぬ	九白	奈良春日大社万灯籠、末伏、不成就日	十二	大安	み	参	百事吉	4.59 18.32	14.05	5.37 17.16
13日	火	つちのとり	九紫	●上弦○時一九分、月遅れ盆迎え火	十一	佛滅	のぞく	背	十し	4.58 18.33	13.01	4.07 15.18
12日	月	つちのえさる	一白	振替休日、徳島阿波踊り(15日迄)、天しや	十	先負	たつ	畢	よろづ	4.58 18.34	11.59	3.08 14.48
11日	日	ひのとつじ	二黒	■山の日、高知よさこい祭(9日、12日)	九	友引	とづ	昂	神よし	4.57 18.35	10.59	2.27 14.23
10日	土	ひのえうま	三碧	旧七夕、館山安房神社祭、西鶴忌	八	先勝	ひらく	胃	神よし	4.56 18.36	10.01	1.54 13.59
9日	金	きのと	四緑	長崎原爆の日、京都清水寺千日詣り(16日迄)、宝塚中山寺夏会式、新潟祭(11日迄)	七	赤口	おさん	婁	神よし	4.55 18.37	9.05	1.24 13.35
8日	木	きのえうま	五黄	御嶽山雲上大御神火祭	六	大安	なる	奎	大み	4.54 18.38	8.09	0.55 13.10
7日	水	みづのとう	六白	立秋九時〇九分、鼻の日、下関忌宮数方庭祭(13日迄)	五	佛滅	あやぶ	壁	大み	4.54 18.39	7.12	0.27 12.43
6日	火	みづのえさる	七赤	東京佃祭、不成就日	四	先負	あやぶ	室	大み	4.53 18.40	6.13	—
5日	月	かとうし	八白	土用二の丑、山形花笠祭(7日迄)	三	友引	やぶる	危	十し	4.52 18.41	5.12	11.41
4日	日	かえいぬ	九紫	●朔二〇時一三分、久留米祭 旧七月大	二	先勝	とる	虚	きこ	4.51 18.42	4.09	11.05
3日	土	つちのえいぬ	二黒	秋田竿燈(6日迄)、多賀大社萬燈祭、桑名石取祭	一	佛滅	さだん	女	月とく	4.51 18.43	3.05	10.23
2日	金	つちのえいぬ	三碧	八戸三社祭、鬼貫忌、青森ねぶた祭(7日迄)、宇佐神宮夏越祭(4日迄)	廿八	先負	たいら	牛	ぶく日	4.50 18.44	2.03	9.34
1日	木	ひのと	三碧	八朔、水の日、大宮氷川神社例祭、諏訪お舟祭、一粒万倍日、旧六月小	廿七	友引	みつ	斗	神よし	4.49 18.45	1.06	8.39

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したり、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。
【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人は結婚の媒酌人のこと、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」に「本書紀の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲介者の必要度がたかまった結果であろう。仲人親といつて夫婦の仮り親視する言葉仲人役を引き受けたら、

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
31日	土	ひのと	九紫	二百十日	廿八	佛滅	あやぶ	女	神よし	5.12 18.10	2.01	9.28
30日	金	ひのえうま	一白	不成就日	廿七	先負	やぶる	牛	天おん	5.11 18.11	0.58	8.34
29日	木	きのとうし	二黒		廿六	友引	とる	斗	●	5.11 18.13	—	7.24
28日	水	きのえいぬ	三碧	甲子、一粒万倍日	廿五	先勝	さだん	箕	天おん	5.10 18.14	23.57	—
27日	火	みづのとう	四緑	旧地蔵ぼん、愛知一色大提灯、八せん終り、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭、三隣亡	廿四	赤口	たいら	尾	ちう日	5.09 18.15	23.02	4.19
26日	月	みづのえいぬ	五黄	●下弦一八時二六分、富士吉田火祭	廿三	大安	みつ	心	母倉	5.08 18.17	22.14	3.13
25日	日	かとうし	六白	東京亀戸天神祭	廿二	佛滅	のぞく	房	十し	5.08 18.18	21.32	2.24
24日	土	かえいぬ	七赤	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会、庚申	廿一	先負	たつ	氏	大み	5.07 18.19	20.57	1.43
23日	金	つちのえいぬ	八白	一週上人忌	廿	友引	とづ	亢	神よし	5.06 18.21	19.57	0.28
22日	木	つちのえうま	九紫	処暑二時五五分、不成就日	十九	先勝	ひらく	角	神よし	5.05 18.22	19.28	—
21日	水	ひのと	一白		十八	赤口	おさん	軫	月とく	5.05 18.23	18.58	11.32
20日	火	ひのえうま	二黒	●望三時二六分、鎌倉市鎌倉宮祭	十七	大安	なる	翼	大み	5.04 18.24	18.25	10.50
19日	月	きのとう	三碧	秋田花輪ばやし	十六	佛滅	あやぶ	張	神よし	5.03 18.26	17.46	22.37
18日	日	きのえうま	四緑	旧ぼん、千葉だらだら祭(16日、22日)、伝教大師誕生会	十五	先負	やぶる	星	ぶく日	5.02 18.27	17.46	21.54
17日	土	みづのとうし	五黄	滋賀建部夏祭	十四	友引	とる	柳	●	5.02 18.28	17.01	21.01
16日	金	みづのえいぬ	六白	京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭、月遅れ盆送り火、八せん始め、一粒万倍日	十三	先勝	さだん	鬼	天おん	5.01 18.29	16.08	20.19
15日	木	かとう	七赤	月遅れ盆、終戦記念日、三隣亡、全国戦没者追悼式	十二	赤口	たいら	井	大み	5.00 18.31	15.46	19.38

婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。
【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。
【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の「大文字」、徳島の阿波踊りなど有名である。
この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。
広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。
「山の日」は山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日である。(平成二十八年施行)
十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。